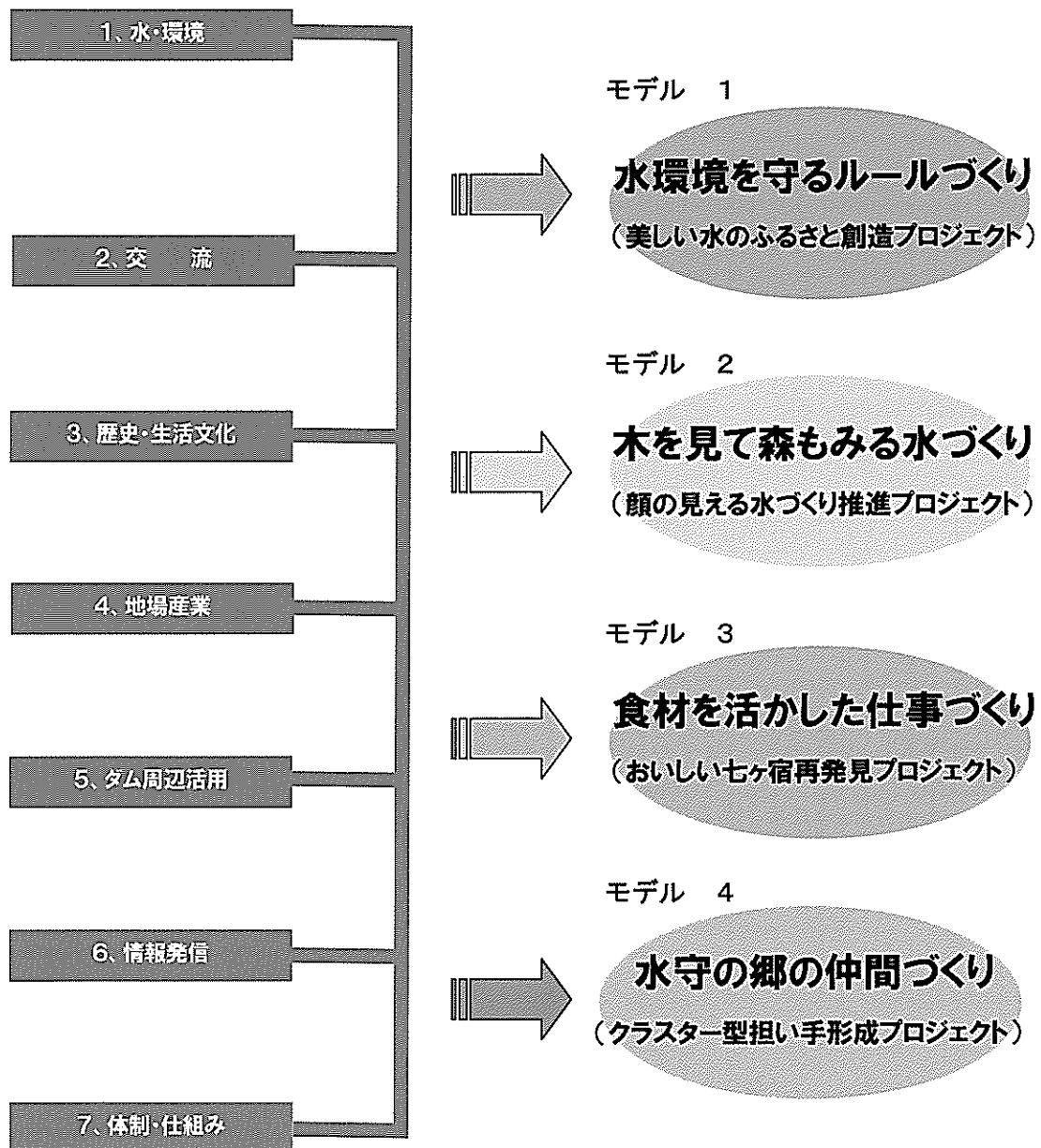


5. 水源地域活性化のモデルプロジェクト

5.1 テーマに対応するモデルプロジェクト

七ヶ宿ダム水源地域活性化の目標達成にむけて、重点的に取り組むことが期待される施策を効果的に推進していくモデルとして、「水環境を守るルールづくり」、「木を見て森もみる水づくり」、「食材を活かした仕事づくり」、「水守の郷の仲間づくり」の4つのプロジェクト展開を図っていきます。



モデルプロジェクトとの実現にむけては、山を守ることで、山の幸に恵まれ、山の幸を活かすことで、山の仕事が元気になるよう、地域資源の着目した流域交流や、都市との交流の相乗効果が図られるよう取り組みます。

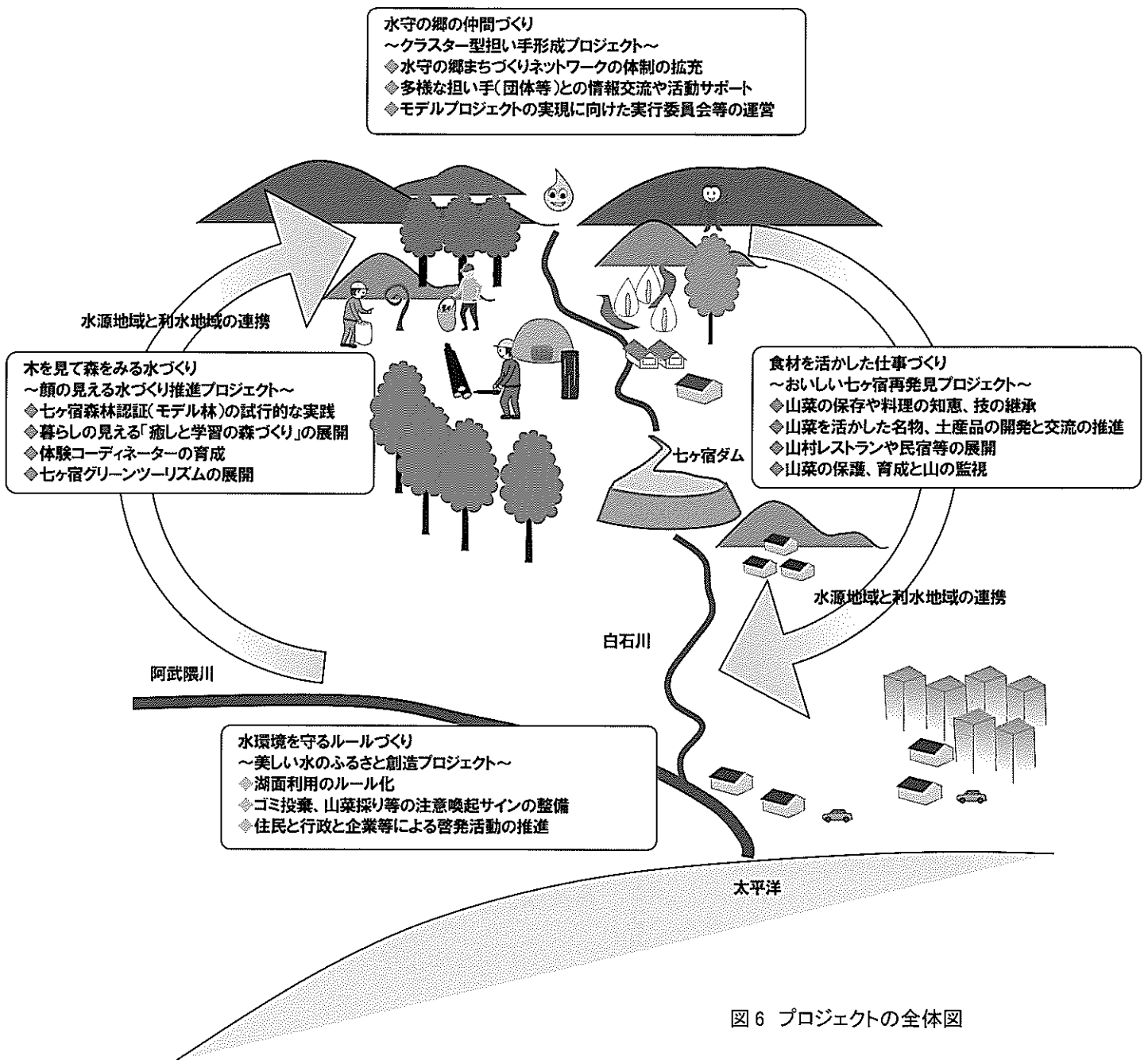


図6 プロジェクトの全体図

水環境を守るルールづくり

(美しい水のふるさと創造プロジェクト)

【概要】

本プロジェクトでは、ゴミ投棄、湖面利用、汚水排水、景観阻害などの問題に包括的に取り組み、安全で良質な水の確保や美しい水源地域の景観保全・創造、湯水等の非常時の危機に対処していく「美しい水のふるさと創造プロジェクト」を推進していきます。

また、こうした取り組みの実効性を高めるために、県の「ふるさと宮城の水循環保全条例」とも整合するよう、新たな規制・誘導等のルールづくりを行い、環境を守るための啓発や改善活動に取り組みます。


【関係主体】

プロジェクトの実現にむけては、企業や市民ボランティアの協力を得て、具体的な環境改善に取り組みます。

利水地域の社会貢献団体（ロータリークラブ、ライオンズクラブ等）との連携、あるいは県の「スマイルサポーター制度」の活用などにより、環境の維持・改善に具体的に取り組みます。

プロジェクトの概要

- ◇七ヶ宿町、白石市、大河原町、村田町、柴田町
- ◇宮城県大河原地方振興事務所
- ◇宮城県大河原土木事務所
- ◇七ヶ宿ダム管理所
- ◇水守の郷ネット
- ◇水守人の会
- ◇七ヶ宿ダム自然休養公園管理財団
- ◇七ヶ宿観光開発(株)
- ◇七ヶ宿町体育協会
- ◇七ヶ宿町森林組合
- ◇白石川漁業協同組合
- ◇湖面利用者団体
- ◇利水地域の社会貢献団体（ロータリークラブ、ライオンズクラブ 等）
- ◇利水者団体（県企業局、水道事業者 等）

行動計画	<p style="text-align: center;"><u>[重点的な取り組み]</u></p> <p>◆湖面利用のルール化 現行では、利用者の自主管理に任せているのが実情であり、一部に湖面の安全確保や環境配慮等の面で問題が生じています。 今後は、水環境の保全に十分に配慮した湖面利用計画を策定し、そのルールをダムの管理者と湖面利用者等が共有していくことで美味しい水の安定供給に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○湖面利用計画の策定 <p>◆ゴミ投棄、山菜採り等防止の注意喚起サインの整備 ゴミの投棄やマナーを無視した山菜採り等に対して、毅然とした態度で住民が来訪者に注意を促していくとともに、短期的な取り組みとして注意喚起サイン等を整備・充実します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クリーンキャンペーンの企画・実施 (利水地域の社会貢献団体等との連携、マスコミとの連携) ○注意喚起サインの点検・補修 ○水道に係る水質汚濁を防止し、安全で良質な水を確保する水源保護地域の指定検討(宮城県との連携の働きかけ) ○ゴミの不法投棄に関する規制・誘導 ○水源保全のルールづくりに向けた水源地域と利水地域の協働の仕組み構築 <p>◆住民と行政と企業等による啓発活動の推進 水源保護や景観形成、水循環保全等に係る対策を流域地域の住民・行政・企業等と一緒に話し合い、効果的な対策を幅広く検討するための啓発活動やイベント等の機会を設け、水源地域と利水地域の信頼関係を築いていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活用水として貴重な水源保全や危機管理の重要性の啓発 ○水の感謝祭等イベントの企画・運営 (子供による奉仕活動・学習発表) (水守の宣言) <div data-bbox="1054 1585 1295 1765" style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ○屋号看板等の地場産材を活用した街並み景観の形成 (「七ヶ宿町街なみ景観条例」の運用) ○生活雑排水の浄化促進やエコ石鹸の研究、導入の推進
------	--

<p style="text-align: center;">主体間の連携 イメージ</p>	<p>水源保護や景観形成、水循環保全等に係る規制・誘導のあり方を検討し、有効なルールづくりを行うために多様な関係主体が協力・連携して取り組んでいきます。</p> <p>【想定される主体間の連携（例）】</p>	
<p>実現スケジュール</p>	<p style="text-align: center;">短期的</p>	<p style="text-align: center;">中・長期的</p>
<p>湖面利用のルール化</p>	<p style="text-align: center;">関係主体の連携・協力による監視、周知の徹底</p> <p>ルールの適用範囲の明確化 → 監視体制の充実</p>	
<p>ゴミ投棄、山菜取り等防止の注意喚起サインの整備</p>	<p>クリーンキャンペーンの企画・実施</p> <p>注意喚起サインの点検・補修 → サインの配置、形態の検討、改善及び設置</p> <p style="text-align: right;">水道水源保護地域の指定検討</p>	
<p>住民と行政と企業等による啓発活動の推進</p>	<p>水の感謝祭の企画・運営（子供による奉仕活動・学習発表・水守の宣言）</p> <p>街並み景観の形成（屋号看板設置等） → 景観ガイドラインの設定</p>	

木を見て森もみる水づくり

(顔の見える水づくり推進プロジェクト)

[概要]

本プロジェクトでは、水づくりは森づくり、自分の水は自分でつくることを基本的な考え方として、より多くの利水地域の共感者とともに水源地域の水づくり運動を広げる各種事業に取り組み、おいしい水の安定供給に寄与するために「顔の見える水づくり推進プロジェクト」を展開します。

また、七ヶ宿における持続可能な森林経営の展開や水情報の発信、体験コーディネーターの育成等、水源地域の生活文化や暮らしが見える水づくりを推進します。



[関係主体]

プロジェクトの実現にむけては、七ヶ宿町、七ヶ宿町森林組合、八吾作、水守人の会、山の学校運営委員会等の活動実績のある地元組織と利水地域の関係機関が、協力・連携して各種事業の推進を図ります。

また、国産木材の需要拡大については、先進的な事例等に学び、七ヶ宿での持続可能な森林経営のシステムに係る研究を進めていきます。

プロジェクトの概要

- ◇七ヶ宿町
- ◇七ヶ宿町森林組合
- ◇八吾作
- ◇水守人の会
- ◇山の学校運営委員会
- ◇利水地域の市町村
- ◇宮城県大河原地方振興事務所
- ◇宮城県大河原土木事務所
- ◇森林管理署

<p>行動計画</p>	<p style="text-align: center;">[重点的な取り組み]</p> <hr/> <p>◆七ヶ宿森林認証（モデル林）の試行的な実践 七ヶ宿森林認証の実践では、持続可能な森林経営をするための指針に則った森林の育成を行い、水源地域の林業従事者が仕事や地域に誇りを持てるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界標準の森林認証に則った森林の管理・育成の試行 ○林業振興のなかでの森林環境の保全（林道等における環境保全） ○持続可能な森林経営の普及拡大（住宅に対する助成等） ○消費者にインパクトを与える企画等の創意工夫 <p>◆暮らしの見える「癒しと学習の森づくり」の展開 都市住民との交流を拡大し、林業従事者と消費者とNPO等のお互いの理解を深めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「癒しの森」の選定（7箇所）、ウォーキングルート等の整備 ○伝統的な山の作業の見学会開催（馬で木を切り出す） ○山村の生活文化にふれられる体験交流の推進 ○マスメディア等を活用した森づくりの情報発信 <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <p>◆体験コーディネーターの育成 山を気軽に楽しめる林間トレッキング体験や七ヶ宿材での家づくりを希望するオーナー等のニーズに対応できる体験コーディネーターを育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校単位での林業体験授業やオーナー林の育成 ○山仕事の体験、木工体験（トンテンカン道場等）の機会拡大と人材育成 ○七ヶ宿材を活用した家づくりの展開 <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <p>◆七ヶ宿グリーンツーリズムの展開 薪ストーブの学校、お母さん一品持ち寄りの農家民宿、七ヶ宿の水で入れたお茶やコーヒーでのもてなす道の駅との連携など、七ヶ宿体験機会を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山の学校の推進、農家民宿の調査研究・実践 「水」と「宿場」を結びつけたイベント開催 （例えば、羽州街道の名水で「利き水」） ○源流を起点にした白石川サインの設置
-------------	---

<p>主体間の連携 イメージ</p>	<p>山仕事の見学や体験（森林に入ろう七ヶ宿、トンテンカン道場）、農業の体験（山の学校）、水源涵養（炭撒き）等の機会を拡充し、森づくり・水づくりの関係主体の協力・連携を強めていきます。</p> <p>【想定される主体間の連携（例）】</p> <p>▲森林へ入ろう七ヶ宿 ▲炭焼き体験 ▲トンテンカン道場</p>	
<p>実現スケジュール</p>	<p>短期的</p>	<p>中・長期的</p>
<p>七ヶ宿森林認証の試行的な実践</p>	<p>モデル森林の指定 七ヶ宿認証の実践 持続可能な森林経営の普及・拡大</p>	
<p>顔の見える「癒しと学習の森づくり」の展開</p>	<p>癒しの森の選定～ウォーキングルートの整備 “馬で木を出す”山の作業の見学会開催 山の風物詩として定着化</p>	
<p>体験コーディネーターの育成</p>	<p>体験コーディネーターの育成 学校単位での林業体験授業 オーナー林の育成 木の家づくりのPR 木工体験（トンテンカン道場）機会の拡大</p>	
<p>七ヶ宿グリーンツーリズムの展開</p>	<p>山の学校の推進 農家民泊の調査研究・実験 「水」と「宿場」を結びつけたイベントの開催 源流を起点にした白石川サインの設置</p>	

食材を活かした仕事づくり

(おいしい七ヶ宿再発見プロジェクト)

プロジェクトの概要	<p>[概要]</p> <p>本プロジェクトでは、忘れられている祭り日のハシの食事や保存食、家庭の味等、昔ながらの食文化（郷土料理）を掘り起こし、安全で健康によく、美味しいものを提供し、さらに土産品等の開発や料理店経営等につなげ、食材を活かした仕事づくり（コミュニティビジネス）につなげていきます。</p> <p>また、水源地域を訪れる人々を対象に、山菜の採り方、加工等の扱い方、料理法や食べ方などの食を通じた体験機会を提供し、都市との交流を促進していきます。</p>
	<p>[関係主体]</p> <p>プロジェクトの実現にむけては、食生活改善グループや湯原郷土料理研究会等の実績のある組織が中心となり、七ヶ宿の伝統料理、お祭りや季節ごとに伝えられてきたおふくろの味、「横川地区」「渡瀬地区」の料理等を掘り起こし、再生と再現に取り組みます。</p> <p>また、郷土料理や地域特産等の販売、販路拡大に向けては、「旬の市七ヶ宿」や「道の駅七ヶ宿」と連携していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇湯原郷土料理研究会 ◇食生活改善グループ ◇水守の郷ネット ◇旬の市七ヶ宿 ◇道の駅七ヶ宿 ◇七ヶ宿町商工会 ◇七ヶ宿町 ◇宮城県大河原地方振興事務所 ◇白石警察署関駐在所

行動計画

[重点的な取り組み]

◆山菜の保存や料理の知恵、技の継承

貴重な山菜を食材とする保存、加工の知恵や技を食生活改善グループや郷土料理研究会の取り組みと連携して継承します。

- セヶ宿固有の郷土料理の再発見・再生
(お祭りの料理・横川や渡瀬の料理の再現)
- 山菜の保存加工技術の次世代への継承と活用

◆山菜を活かした名物、土産品の開発と交流の推進

山菜や技術等の地域資源、消費者のニーズ等を踏まえ、そこに行かなければ買えない“セヶ宿の売り”で来訪者をもてなします。



- 山菜やその他の食材を組み合わせた料理(山菜おこわ、舞茸おこわ)の名物料理、土産品の試作、開発
- 名物料理のネーミングの工夫等のPR
(本陣の御膳、セヶ宿ゆべし など)
- 都市住民を対象にした山菜採りツアー、郷土料理体験機会の提供

◆山村レストランや民宿等の展開

山菜を主たる食材とする山村屋台や山村レストランの開業に向けて、モデル地域を絞り込んで選定し、具体的に実現可能性を研究します。

- 旬の市、道の駅等での食文化の発信、山村屋台等での試作販売、PR
- 山菜を活用した新たな専門料理店の開業
- かつて横川地区にあった民宿の再現や宿場の街なみ等の再生



◆山菜の保護、育成と山の監視

山の恵みを保全するために、悪質な山菜採りを地域住民が毅然と阻止し、パトロール等の山の監視を強めて資源の保護・育成を図ります。

- 山菜の保護のための山の管理
- 山菜採りシーズンにおける山の監視強化
- 山菜を料理店等に安定供給するための採取と流通の仕組みの構築

<p>主体間の連携 イメージ</p>	<p>七ヶ宿の食材を活かした郷土料理のお披露目会や試食会を拡充していくために、郷土料理研究会や食生活改善グループ等のノウハウや人脈を積極的に活用していきます。</p> <p>【想定される主体間の連携（例）】</p> <p>▲バツタリ ▲みそゆべし ▲郷土料理（御膳）</p>	
<p>実現スケジュール</p>	<p>短期的</p>	<p>中・長期的</p>
<p>山菜の保存や料理の知恵、技の継承</p>	<p>郷土料理の再発見 おいしい水でできた七ヶ宿名物でのもてなし、PR 山菜の保存加工技術の継承と活用</p>	
<p>山菜を活かした名物、土産品の開発と交流の推進</p>	<p>山菜採りツアーの実施 名物料理、土産品の開発、試作 名物料理のネーミングの工夫等のPR</p>	
<p>山村レストランや民宿等の展開</p>	<p>旬の市、道の駅等での食のもてなし 品質確保のための講習 山村屋台等での試作販売 専門料理店の開業・民宿再生</p>	
<p>山菜の保護、育成と山の監視</p>	<p>山菜の保護のための山の管理 山菜採りシーズンにおける山の監視強化 山菜の安定供給のための仕組み構築</p>	

水守の郷の仲間づくり

(クラスター型担い手形成プロジェクト)

プロジェクトの概要

[概要]

本プロジェクトでは、既存の地域づくり等実践活動団体が個性ある事業を多角的に展開しながら、相互に補完・強調することで、水源地域の持続的・自立的な施策展開を可能とする「クラスター型担い手形成プロジェクト」を推進し、仲間づくりを広げていきます。

担い手形成では、「水守の郷ネット」を水源地域および利水地域等の既存団体をつなぐ中間組織として位置づけ、事業運営の調整や推進体制の補強など、情報交流や活動サポート、活動成果発表の場の提供等の機能を発揮します。


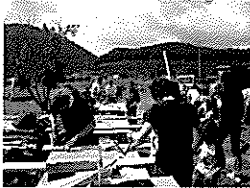
[関係主体]

プロジェクトの実現に向けては、まず「水守の郷ネット」の組織体制づくりを進めていきます。

その上で、地元の人に本ビジョンを周知して、地元の足下を固めるための会員拡大に向けた広報活動とPRを進めます。さらに、個々のプロジェクトでの人のつながりなど、利水地域に目を向けた交流連携のネットワークを構築していきます。

利水地域に対しては、特に「白石川だいすき倶楽部」や「白石市ライオンズクラブ」、「マスコミ各社」等に個別・具体的に働きかけ、協力を得ながら、一人ひとりの活動の輪を広げていきます。

- ◇水守の郷ネット
- ◇地域づくり活動団体
- ◇利水地域のNPO等団体
(白石川だいすき倶楽部)
- ◇七ヶ宿町
- ◇七ヶ宿ダム管理所
- ◇宮城県大河原地方振興事務所
- ◇宮城県大河原土木事務所
- ◇白石市ライオンズクラブ
- ◇利水者団体 (県企業局、水道事業者 等)

<p>行動計画</p>	<p style="text-align: center;"><u>[重点的な取り組み]</u></p> <p>◆水守の郷まちづくりネットワークの体制の拡充 水源地域ビジョンの策定に主体的に取り組んできた「水守の郷ネット」の会員の拡充及び地域内外とのネットワーク形成により体制を拡充していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水源地域の多様な主体を巻き込んだ新たな人材の確保、ネットの体制の拡充 ○ビジョン策定を節目として、これまでの取り組みの周知と今後の展開への協力、連携拡大のためのインパクトのあるイベント等を企画・実施 ○水源地域の歴史・文化を伝える「語り部」の育成 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>◆ネットの拡充とモデルプロジェクトの実現に向けた他地域との連携 中間組織としてネットを拡充していくために利水地域のNPO等団体と事業を共催していくなど、他地域との連携を積極的に推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政の広報誌、民間のタウン誌等での水源地域の広報、PR ○利水地域のNPO等団体との事業共催、連携 (環境学習プログラムの提供、全日本カヌーミーティング など) ○交流や支援活動の積み重ねによるファンの獲得と会員拡大 ○記者クラブ等マスコミへの情報発信の拡充 <p>◆多様な担い手(団体等)との情報交流や活動サポート 水源地域の活性化に関連する既存団体との交流や活動サポートを通じて、担い手の実践力の向上を図り、より効果的な事業運営の仕組みを構築していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間活動スケジュール一覧の整理、情報発信 ○水源地域の各種団体の行事等を網羅したHPの作成、情報発信 ○会費、助成金、収益業等による多様な資金源の確保、調達を重点的に展開 ○実践団体等のサポートの体制と仕組み構築
-------------	--

<p>主体間の連携 イメージ</p>	<p>水守の郷ネットの実行組織への移行と組織の充実を図り、多様な地域組織や活動団体との交流・連携を進め、相互のつなぎの機能を発揮できるように取り組んでいきます。</p>	
<p>実現スケジュール</p>	<p>短期的</p>	<p>中・長期的</p>
<p>水守の郷まちづくりネットワークの体制の拡充</p>	<p>新たな人材の確保、ネットの体制拡充 インパクトのあるイベントの開催 語り部の育成</p>	<p>クラスター型担い手形成</p>
<p>ネットの拡充とモデルプロジェクトの実現に向けた他地域との連携</p>	<p>広報誌、タウン誌等での水源地域の広報、PR NPO団体等との事業共催、連携</p>	<p>ファンの獲得と会員拡大</p>
<p>多様な担い手（団体等）との情報交流や活動サポート</p>	<p>年間スケジュール一覧の整理、情報発信 HPの作成、情報発信</p>	<p>実践団体等のサポート体制と仕組みの構築 多様な資金源の確保、調達の重点的な展開</p>